調査日　　年　　月　　日　　保

記　載　例

NO

【概況調査表】特記すべき事項

概況調査には調査対象者の状態を簡潔に記載してください。また、注意、注目すべき点の記載もお願いいたします。調査票のⅣの特記すべき事項への記載は特に必要ありません。

（参考）
1-1　麻痺等　1-2　拘縮等
1-3　寝返り
1-4　起き上がり
1-5　座位保持
1-6　両足での立位
1-7　歩行　1-8　立ち上がり
1-9　片足での立位
1-10　洗身
1-11　つめ切り
1-12　視力　1-13　聴力
2-1　移乗　2-2　移動
2-3　えん下
2-4　食事摂取
2-5　排尿　2-6　排便
2-7　口腔清潔　2-8 洗顔
2-9　整髪
2-10　上衣の着脱
2-11　ズボン等の着脱
2-12　外出頻度
3-1　意思の伝達
3-2　毎日の日課を理解
3-3　生年月日をいう
3-4　短期記憶
3-5　自分の名前をいう
3-6　今の季節を理解
3-7　場所の理解　3-8　徘徊
3-9　外出して戻れない
4-1　被害的　4-2　作話
4-3　感情が不安定
4-4　昼夜逆転
4-5　同じ話をする
4-6　大声を出す
4-7　介護に抵抗
4-8　落ち着きなし
4-9　一人で出たがる
4-10　収集癖
4-11　物や衣類を壊す
4-12　ひどい物忘れ
4-13　独り言・独り笑い
4-14　自分勝手に行動する
4-15　話がまとまらない
5-1　薬の内服
5-2　金銭管理
5-3　日常の意思決定
5-4　集団への不適応
5-5　買い物
5-6　簡単な調理
6-1　点滴の管理
6-2　中心静脈栄養
6-3　透析
6-4　ストーマの処置
6-5　酸素療法
6-6　レスピレーター
6-7　気管切開の処置
6-8　疼痛の看護
6-9　経管栄養
6-11　じょくそうの処置
6-12　カテーテル
7-1　障害高齢者自立度
7-2　認知症高齢者自立度

群・項目		項目別特記事項
1	1	（例）確認動作可能。
	2	（例）拘縮なし。
	6～8	（例）柵などにつかまれば、ふらつきあるが 10 秒程度は保持可能。歩行は柵等につかまって可能。外は杖を使用する。椅子からの立ち上がりはつかまってやっと立ち上がる。

群・項目については、1群の「1」は左側に、項目は右側にお願いします。

項目が連続する場合は「6 ～ 8」のように記載をお願いします。

認定調査員テキストを参考に記載をお願いいたします。